



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3566 号 2017.3.22 発行

米セサミストリートに自閉症の新キャラクター、来月デビューへ



ロイター 2017年 03月 21日
3月20日、米国の子ども向け人気番組「セサミストリート」に、自閉症を持つ女の子のマペットキャラクター「ジュリア」が登場する。赤毛のジュリアは歌を歌うのが好きで、多くの歌詞を暗記している。初登場は4月10日。写真は2013年9月撮影のキャラクターら（2017年 ロイター/Larry Downing）

〔ニューヨーク 20日 ロイター〕 - 米国の子ども向け人気番組「セサミストリート」に、自閉症を持つ女の子のマペットキャラクター「ジュリア」が新たに登場する。赤毛のジュリアは歌を歌うのが好きで、多

くの歌詞を暗記している。

初登場は4月10日。子ども向け教育番組の制作を手掛ける米非営利団体セサミ・ワークショップは20日、自閉症児の家族からこのテーマを取り上げるよう要望があったことを受け、5年にわたって家族や専門家の意見を聞いたと説明した。

番組でジュリアは、ビッグバードやエルモなど人気キャラクターと交流するが、ときに過度に興奮したり、手を叩いたりするという。

米疾病対策センター（CDC）によると、米国の子どもの68人に1人が自閉症と診断されており、2000年に比べて119%増加している。

ジュリア役の担当者もジュリアの台本の製作者も、ともに自閉症の家族を持つ。人形担当のステーシー・ゴードンさんは、CBSの番組で「自閉症のない子供にとって、自閉症がどんなふうに見えるかを知っておくのは重要。私の息子の友達が、教室で経験する前にテレビなどで彼のような振る舞いを見ていれば、驚かずに済むかもしれない。叫んでも心配せず、彼が人と違う遊び方をすることや、それでも大丈夫であることを知っていてくれるかもしれない」と語った。

1969年の放送開始以来、セサミストリートは幼児に対し、読み書きや数字、色などを教育するとともに、離婚や障害、人種、死などのテーマを採用している。

子ヤギが仲間入り 障害者福祉施設の牧場

紀伊民報 2017年 3月 21日

和歌山県田辺市木守（大塔地域）にある障害者福祉施設の牧場「木守ファーム」に、子ヤギが仲間入りした。「かわいらしくて毎日世話をするのが楽しみ」などと、利用者らの人気者になっている。

木守ファームは、社会福祉法人「大塔あすなろ会」の就労支援施設「ささゆり作業所」が運営。利用者との触れ合いを目的にポニーなどを飼育している。

愛嬌（あいきょう）を振りまいている子ヤギ＝和歌山県田辺市木守で

仲間入りしたのは子ヤギ2匹とその母親など計4匹。2月下旬、職員の知人から譲り受けた。

子ヤギは雄と雌で、牧場に来た時は生まれて間もなかったために弱々しかったが、今は体長60センチほどに成長。元気に走り回ったり、飛び跳ねたりしている。

一般の見学を歓迎しており、子ヤギの名前も募集中。職員の森将太さん（32）は「皆さんに愛される名前をつけていただけたら」と話している。

問い合わせは、あすなろ木守の郷（0739・62・0431）へ。



東ちずるが小池都知事を表敬訪問「世界自閉症啓発デー」



スポーツ報知 2017年3月21日
小池都知事（後列右から3人目）は表敬訪問の東ちずる（同4人目）らと記念撮影

アートやスポーツなどを通じて障害者と健常者が共生する社会作りを目指す一般社団法人「Get in touch」代表の女優・東ちずる（56）は21日、世界自閉症啓発デー（4月2日）へ向けてのキャンペーン告知のため、東京都の小池百合子知事（64）を表敬訪問した。

啓発デーは国連が定めた日で、全世界的に活動が行われるが、東は「日本は（啓発が）遅れている印象を与えてしまっている」と説明。4月2日には東京タワーをシンボルカラーの青で点灯するイベントが予定されており「知事に参加して頂き、自閉症の子たちと5分でも10分でも一緒に歌って頂きたい」と協力を呼び掛けた。

表敬訪問にはセクシャルマイノリティー発達障害ダンサー、自閉症のミュージシャンとアーティスト、全盲のシンガー・ソングライターたちも青いシャツを身につけて同席。2016年のリオパラリンピックの閉会式に出場した車椅子ダンサーのかんばらけんたさんは、小池知事の前で軽快なダンスを披露。小池都知事は「皆さんそれぞれの特技を生かして仲間たちにも勇気を与えて下さい」と激励した。

アルバイト時給再び1000円超 2月 飲食系が過去最高に

日本経済新聞 2017年3月21日

アルバイトやパートの平均時給が一段と上昇している。求人情報大手がまとめた2月の平均時給は軒並み1000円を上回り、値上がり傾向が鮮明だ。例年2月は高時給の募集が一服し上昇ペースは緩やかになりがちだ。今年は人手不足を背景に、外食店の店員や一般事務員などの賃金が高まり、全体の水準を押し上げた。

リクルートジョブズ（東京・中央）が21日まとめた2月のアルバイト・パートの募集時平均時給は、三大都市圏（首都圏、東海、関西）で前年同月と比べ2.3%上昇の1001円だった。2カ月ぶりに1000円の大台に乗った。

平均時給は2016年11月に1002円と初めて1000円を突破したものの、17年1月は993円に下がっていた。年末の繁忙期が終わると、学生アルバイトなどが入れ替わる新年度入りが近づく。1カ月未満などの短期アルバイトに比べ相対的に時給の安い長期勤務の募集が増え、賃金上昇を抑える傾向にある。

ただ今年は今よりも上昇が目立つ。人員不足で長期アルバイトの時給が高くなっていることに加え、事務系社員を中心に通年採用で人手を確保する企業が増えている。

職種別で上昇が目立つのは、ファミリーレストランや居酒屋といった飲食店の店員だ。前年同月と比べ1.6%上昇の967円と、比較可能な11年1月以降で過去最高となった。

人員の困り込みの動きも目立つ。日本マクドナルドは15日、アルバイトの採用拡大を目的に店舗での仕事の体験会を全国規模で初めて開催した。「1万8千人が参加し、すでに採用が決まった人もいる」（同社）

データ入力や受付、接客対応といった事務系は3%上昇の1029円だった。格安スマートフォン（スマホ）サービスなど成長が目立つ業種で、コールセンタースタッフを中心に採用拡大の動きがみられる。

介護福祉士などの専門職も0.6%増の1146円。事務系と並び、1000円台の時給が定着している。業務負荷の重さから人手不足感が強い工場作業員やトラック運転手などは、2.4%上昇の990円だった。

インテリジェンスが21日まとめた全国の平均時給も、前年同月を1.7%上回る1005円だった。6カ月連続で1000円を上回った。上土達哉編集長は「3月は専門職やキャンペーン要員の募集が増えるため、時給が上昇する見込み」としている。

国交省 エレベーターを障害者優先 マーク設置義務化へ 毎日新聞 2017年3月22日

国土交通省は21日、鉄道駅など全国の旅客施設のエレベーターに、障害者や高齢者が優先利用できることを示す「優先マーク」の設置を義務づける方針を固めた。マークを掲げることで優先順位を強調し、一般客には階段やエスカレーターの利用を促す。

マークの設置対象は主に鉄道駅、バスターミナル、空港、旅客船ターミナルなどのエレベーター。国交省はバリアフリー法に基づく省令を改正し、旅客施設の管理者に設置を義務づける。義務化の対象は、施設の新設や大規模改修時だが、既存のエレベーターにも可能な限り設置を求める。

国交省は、電車やバスの優先座席と同様に、より必要としている人から優先利用できる環境をつくり、周囲の理解を得たい考えだ。優先マークのデザインは来年度末までに決め、義務化までは一定の準備期間を置く。

現在、エレベーターの利用に関する取り決めはなく、車椅子やベビーカーの利用者と一般客は通常、乗り場にきた順に乗り込んでいることが多いとされる。このため、階段やエスカレーターの利用が不自由な人たちが長時間待たされることがあるとの指摘もあった。

【内橋寿明】

認知症の人は不安だらけ VRで患者の気持ち体験 東京新聞 2017年3月22日

ディスプレイをつけ認知症の仮想現実を体験する参加者=さいたま市で



二〇二五年には高齢者の五人に一人が認知症を患うとされている。風邪なら自身の経験を基に患者の気持ちを思いやることができるが、認知症の人がどんな場面でどんな思いをしているのかは想像しにくい。そこで、東京都内の企業が開いているバーチャルリアリティー（VR＝仮想現実）の技術を活用した体験会に参加し、認知症の人の気持ちを考えてみた。（白鳥龍也）

「さあ着きましたよ。降りましょう」。ヘッド

ホンから女性の声が聞こえる。

ゴーグルのような形をしたディスプレイに映し出されるのは、五階建てほどのビルの屋上から下をのぞいた景色。行き交う車が小さく見える。三六〇度見渡せ、まさに自分が屋上の縁に立っているようだ。「落ちる...」。思わず身をすくませると、今度は男性の声で「右足からゆっくり」と促される。優しい口調が余計に怖い。

やがて画面は変わり、ある家の玄関先。「お帰りなさい」と家人が現れる。そこで、先ほどの映像は施設から送迎車で帰宅した自分が、下車を促されている場面だと気付く。まるで、高いところから突き落とされるような感覚になり、ここから降りるなんてとんでもないと思ってしまう。

「拒絶や徘徊（はいかい）など認知症の症状には理由がある。異常と決め付け、閉じ込めなどで傷つけてはいけません」。体験会を主催した建設関連業で高齢者住宅を運営する「シルバーウッド」（東京都港区）の下河原忠道社長（45）が約五十人の参加者に訴えた。

体験は一回数分間だが、この場面のほか、電車の中で目覚めるとどこにいるのか分からない状況も再現。また家に見知らぬ男が現れたり、ケーキの上を虫がはい回ったりする「幻視」も体験できる。

参加者の多くがディスプレイをつけたまま左右を見回し、不安だらけの世界に迷い込んだ。迷子になる映像では、心細くどうしたらよいのか分からなくなったが、「どうしましたか」と、通り掛かった女性に声を掛けられ、救われた気持ちになった。

体験会は、さいたま市で行われた介護福祉業界の就職・転職フェアの一環。埼玉県新座市の障害者施設職員小沢久美さん（53）は「八十四歳になる認知症の母の気持ちが少し分かった。電車の乗り換えができず責めたことも反省させられた」と話した。

シルバーウッドの下河原社長は、認知症への対応を考えるうち「問題は認知症そのものではなく、認知症の人が生きづらい社会。変わるべきはわれわれ」と感じ、VRの活用を思い付いた。

映像は、認知症の本人や家族らへの聞き取りを基に同社が作った。幻視が特徴のレビー小体型認知症があり、病気について知ってもらおう活動をしている千葉県の樋口直美さん（54）が監修。樋口さんは「VRを体験して、私たちが恐怖の世界に生きていると思ったかもしれないが、異常でも気の毒でもない。周囲の対応が良ければ、普通に暮らせることを理解してほしい」と話す。

体験会は、一年ほど前から学校や企業などで開き、約二千五百人が参加したという。今後は有料化も視野に、よりリアルな映像開発に取り組むという。体験の問い合わせ先は「VR認知症プロジェクト」で検索。

欠勤・遅刻で“罰金”1万円、無給7日間ボランティアも 保育士と違法契約の疑い 姫路こども園



産経新聞 2017年3月21日
不適切な保育の実態が明らかになった私立認定こども園「わんずまぎ一保育園」＝19日午後、兵庫県姫路市

兵庫県姫路市の私立認定こども園「わんずまぎ一保育園」（小幡育子園長）が、同市に無許可で定員を超過した園児を受け入れていた問題で、同園が市に提出していた保育士との雇用契約とは別に、一部の保育士との間で遅刻や欠勤をした場合、罰金や無給勤務を科す契約を結んでいたことが21日、市などへの取材で分かった。市は

労働基準法違反の疑いがあるとみている。

規定の休日数超えると給与カットも

市によると、同園は認定こども園移行後の平成27年度から、市に保育士の雇用期間や賃金などを記載した契約書を提出。しかし、この契約書とは別に一部の保育士との間で、欠勤や遅刻をした場合は給与月給から1万円減額すると規定したほか、保育士の休日が園

の定める日数より多くなった月は超過日数に応じて給与カット、無断で欠勤した場合は無給で7日間ボランティア勤務、30分以上遅刻した場合は2日間などとする契約を結んでいた。

市が2月23日、県とともに特別監査を実施した際、園長や保育士から行った聞き取りで判明したという。

同園は認定こども園の認定を受けた27年度から年間約5千万円を公費で受給。市に無許可で定員外の園児22人を受け入れていたことなどが判明し、県が近く認可を取り消す方針。

問題発覚後の21日、小幡園長は午前7時半ごろ出勤し、訪れた園児や保護者の対応などをしていたが、報道陣の呼びかけには応じなかった。

おかずはスプーン1杯、食べ残しは冷凍保存

姫路市によると、定員46人のはずの同園には0～5歳の園児約70人がおり、室内は暖房が使用されておらず、適温とされる20度を大きく下回る14度になっていたという。

また、給食は定員分を分け合っていたため一人当たりの分量が少なく、乳児には1つの茶碗に米飯やおかず、汁物などを入れたメニューを提供。1、2歳児には米飯のほかスプーン1杯程度のおかずしか与えていなかった。

食べ残しなどを冷凍保存し、1カ月たってから食材として再利用することもあり、監査に加わった管理栄養士が「食育や栄養バランス以前の問題だ」と絶句したという。

市に対して小幡園長は「残飯が出るのがもったいないと思い、給食の量を絞っていた」などと話したという。

ホーム事業者に行政処分 県・渋川市、入所男性虐待で 群馬

産経新聞 2017年3月22日

渋川市の老人ホームで元職員2人が入所男性に虐待をしていた事件を受け、県と渋川市は21日、介護保険法に基づき、サービス事業者に対し、3カ月間の新規利用者受け入れ停止と事業者の介護報酬を30%削減する行政処分を下した。期間は4月から6月下旬まで。処分は3月21日付。

処分を受けたのは、通所介護や定期巡回などの介護サービス事業者の「ベルジ」（高崎市）。

県や渋川市によると、昨年7月9日、同市半田の通所介護施設で、元職員が入所男性当時＝（54）＝の胸元をつかんで激しく揺さぶるなどの身体的虐待を行ったほか、昨年12月2日には、別の元職員が同敷地内の定期巡回などのサービス提供施設で男性の身体を殴る蹴るなどの虐待を行った。

これらの虐待行為について他の職員から上司などに報告があったにもかかわらず、「市への通報を怠った」とし、県や渋川市は事業者を高齢者虐待防止法などの違反で処分した。

因果関係は明らかになっていないが、被害男性は昨年12月30日に肺炎で死亡した。

介護施設職員の高齢者虐待、15年度は最多の408件 日本経済新聞 2016年3月21日

厚生労働省は21日、2015年度に特別養護老人ホームなどの介護施設で発覚した職員による高齢者への虐待は408件だったと発表した。前年度比で36.0%増え、過去最多を更新した。家族や親族などによる虐待は同1.5%増の1万5976件で3年連続の増加。問題意識の高まりで相談・通報件数が増えており、表面化するケースが増えている。

調査は06年度に施行した高齢者虐待防止法に基づき、全都道府県と全市町村が相談や通報を受けて把握した件数をまとめた。

介護施設の職員による虐待の被害者は778人で1人が亡くなった。職員による虐待で死亡したのは同年度に調査を開始して以来初めて。虐待を受けた高齢者の状況をみると、要介護度3以上が622人と79.9%を占めた。

虐待の種類別(複数回答)では、殴る蹴るなどの「身体的虐待」が最も多く 478 人(61.4%)。暴言を吐くなどの「心理的虐待」は 215 人(27.6%)、おむつを替えないなどの「介護放棄」は 100 人(12.9%) だった。

虐待の要因(複数回答)は、認知症への理解不足といった「教育・知識・介護技術などに関する問題」が 246 件(65.6%)と最多。「職員のストレスや感情コントロールの問題」が 101 件(26.9%)で続いた。

一方、家族や親族などから虐待を受けた被害者は 1 万 6423 人で、このうち 20 人が亡くなった。虐待の要因(複数回答)は「介護疲れ・介護ストレス」が 1320 件(25.0%)、「虐待者の障害・疾病」が 1217 件(23.1%)、「被虐待者の認知症の症状」が 852 件(16.1%)の順だった。

施設の高齢者虐待最多 27年度、相談・通報40件、被害者29人 新潟

産経新聞 2017年3月22日

県は21日、介護施設で高齢者が職員から虐待を受けたという相談・通報件数が平成27年度は40件で、被害者数が29人といずれも統計を取り始めた18年度以降で最多だったと発表した。県は市町村を通じて虐待防止の啓発と早期通報を呼びかけている。

県高齢福祉保健課によると、相談・通報件数は前年度より8件増え、被害者数も8人増だった。このうち虐待が確認されたのは1件減の10件。被害者のうち身体的な虐待は19人、心理的虐待が7人だった。

家族や親族から虐待されたという相談・通報件数は29件増の854件。このうち虐待が確認されたのは58件減の508件で、被害者は62人減の520人。身体的虐待が全体の72.5%を占め、次いで心理的虐待、介護放棄が多かった。虐待したのは息子が43.3%と最も多く、夫が19.2%、娘が12.9%だった。

知恵を集め在宅ケア充実を 医療・福祉の「多職種交流会」 佐野

下野新聞 2017年3月22日

【佐野】地域の在宅ケアについて医療や福祉関係者が意見交換する第1回市多職種交流会「佐野地域の在宅ケアを支える」が18日、堀米町の佐野厚生病院で開かれた。

同交流会は、市医師会、佐野歯科医師会、佐野薬剤師会、市の共催。患者、家族が安心して暮らせるための支援について、多職種の人たちが集まり、市内の在宅ケアの現状を知って意見交換し、地域包括ケアシステム実現の一助とするのが狙い。

交流会には、市内の医師や薬剤師、看護師、ケアマネージャー、訪問看護ステーション管理者など63人が参加。各業種が交じるようにして10班に分かれ、どのような連携が必要かなどを話し合った。



脳タンパク質分解酵素を特定 アルツハイマー治療に期待 共同通信 2017年3月22日

記憶力の増強など脳の機能を高めるタンパク質「リーリン」を分解してしまう酵素を、名古屋市立大などの共同研究チームが22日までに特定した。リーリンの減少はアルツハイマー病や統合失調症の発症に関係するとされており、治療薬の開発が期待される。

名古屋市立大の服部光治教授(分子神経科学)は「製薬会社と酵素の働きを抑える薬剤を開発中で、5年後をめどに治験をしたい」と話す。

チームによると、遺伝子改変や脳への投与でリーリンが増えたマウスは、アルツハイマー病の症状が改善することが知られている。

静岡)「ねむの木」美術作品、沼津に咲く 300点展示 朝日新聞 2017年3月22日
美術展を開いた宮城まり子さんと出品者ら=キラメッセぬまづ



「ねむの木学園のこどもたちとまり子美術展」が21日、JR沼津駅北口のキラメッセぬまづ2階市民ギャラリーで開幕した。障害児・者の入所・支援施設「ねむの木学園」(掛川市上垂木)の園生と学園長で理事長の宮城まり子さんの絵画やガラス工芸品、手書き友禅染作品など約300点を展示している。

沼津市でねむの木学園の美術展が開かれるのは初めて。この日90歳の誕生日を迎えた宮城さんは「この地にこどもたちの作品を咲かせることができうれしい。どうぞゆっくりとご覧になってください」とあいさつした。

沼津での開催を働きかけた川勝平太知事は「ねむの木学園は素晴らしい美術を生んできた。美しい景色の中で美しい心が生んだ絵画を展示することはふさわしい」とたたえた。

美術展は4月16日まで。入館料500円(高校生以下無料)。

住宅ローンの新規契約、マイナンバー使い在宅で 三菱東京UFJ銀が4月下旬から

産経新聞 2017年3月21日

三菱東京UFJ銀行は21日、住宅ローンの新規契約が自宅ですることができるサービスを4月下旬から始めると発表した。署名や実印の代わりにマイナンバーを使う仕組みで、銀行が金融取引に使用するのは初めて。書面での契約に必要な印紙税もいらなくなる。

サービスは凸版印刷が開発した。三菱地所レジデンス、東急リバブルが取り扱う一部の物件が対象で、三菱東京UFJ銀は、順次物件を拡大する計画。

ローン契約者は、三菱東京UFJ銀から無償貸与されるマイナンバーカード読み取り装置を自宅パソコンに取り付ける。そのうえで、ダウンロードした契約書ファイルを記入後、マイナンバーカードを使って電子署名付きの契約書を貼り付ける仕組み。

これにより、1千万円超5千万円以下の契約で2万円、5千万円超1億円以下の契約で6万円かかっていた印紙税が不要となる。

銀行側は、カードの電子証明書で、他人のなりすましやデータ改ざんがないことを確認する。今回のサービスにより、利用者は、銀行に出向く必要がなくなる。

三菱東京UFJ銀、三菱地所など4社は平成25年から、住宅ローンの事前審査をタブレット端末で受け付けるなど、手続き負担の軽減を進めてきた。

【鹿間孝一のなにわ逍遙】あきれたお役人の「関西弁」 産経新聞 2017年3月21日

はて、大阪の人は「ゴチャゴチャ」なんて言葉を使うだろうか？

文書を読みながら、考え込んでしまった。

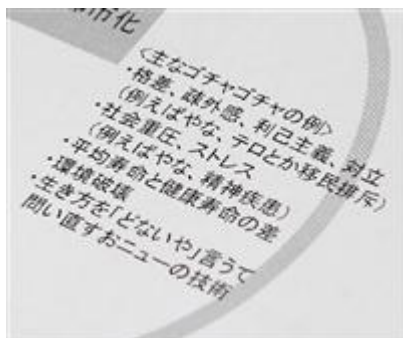
2025年に大阪が誘致を目指す国際博覧会(万博)について、経済産業省が作成した最終報告書案の「関西弁バージョン」である。

まず万博を〈人類共通のゴチャゴチャを解決する方法を提言する場〉と定義する。

主なゴチャゴチャを〈例えばやな〉として、テロとか移民排斥、精神疾患などを挙げ、「不適切だ」と批判されて撤回したが、それはさておく。

それ以前に、これは関西弁なのだろうか。

経産省が作成した、万博の大阪誘致に関する最終報告書案「関西弁版」(部分)



わざわざ「試作品」として、「関西弁ちゅうのは実際ないけどなあ。あと、こんな言い方せーへんとか、細かいこと言わんといてな。とにかく大目に見てくれると助かるわ」と断っているから、書いた当人も自信がなかったのだろう。

〈世界の人々が「もうかりまっか」言うて出会って、たこ焼きを食べながら交流するような場であることも大事や。偏見をほかして、「ぼちぼちでんな」と言い合える仲になる意義もデカいわな〉

どうも無理があるのだ。想像するに、テレビでよく見

る関西出身のお笑い芸人ならこんな話し方をするのでは、と思ったのではないか。

で、あれこれ単語や言い回しを集めた結果。

「ドンパチ」「パクリ」に、「ぐわーっ」だの「どぼーっ」「ぶわーっ」だの、「セクシーちゃうで、レガシーやで」「バブーちゃうで、タブーやで」「むっちゃむずいわ」…

書き連ねるのも恥ずかしい。いや、あほらしい。

谷崎潤一郎は関東大震災で東京を離れ、関西に移り住んだ。

随筆「私の見た大阪及び大阪人」で、東西の言葉の印象をこう書いた。

〈一と口にいえば東京の言葉はおしゃべりに過ぎるように出来ている〉

〈大阪のは言葉数が多くても、その間にポツンポツン穴が開いている〉

どちらに軍配を上げるわけでもないが、関西の女性の言葉には感心したようだ。

〈さすがに関西の婦人の言葉には昔ながらの日本語の持つ特長、一十のことを三つしか口に出さないで残りは沈黙のうちに仄(ほの)かにただよわせる、一あの美しさが今も伝わっているのは愉快だ〉

文豪はそうした関西言葉を駆使して「細雪」などの名作を書いた。

経産省の役人は谷崎を読んだことがないのか。

役所の文書の堅苦しき、わかりにくさは悪文の見本である。ならば親しみやすく「関西弁バージョン」を考えたのだろうが、これはむしろ害をまき散らす。

関西のイメージダウンであり、これから地元の盛り上がりは欠かせないのに、当の関西人があきれて、大阪万博から気持ちが離れてしまう。

「アホちゃうか」と言うしかない。

ドキュメンタリー『Born This Way』放送のお知らせ(全国手をつなぐ育成会連合会)

「手をつなぐ」2016年12月号『世界の動き』の中でもご紹介している、アメリカでエミー賞を受賞したダウン症の若者の生活を描いたドキュメンタリーシリーズ『Born This Way』が、インターネットテレビ(AbemaTV)で日本語字幕付きで放送されます。

※アメリカ在住の日本語を母国語とする家族の会、Japanese Speaking Parents Association of Children with Challenges (JSPACC) のアシュモアさまからの情報を頂きました。インターネット環境で視聴することができます。

■視聴方法

[パソコンから見る場合] 以下のリンクから「Reality Show」チャンネルでご覧いただけます。<https://abema.tv/>

[スマートフォンから見る場合] AbemaTV のアプリをダウンロードして、「Reality Show」チャンネルでご覧いただけます。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行